

児童発達支援センターひいらぎ 支援プログラム

西東京市
児童発達支援センターひいらぎ



児童発達支援センター
ひいらぎ
支援プログラム

- 1 基本理念
- 2 5領域と指導のねらい
- 3 単独療育グループ
- 4 課題別学習グループ
- 5 親子参加グループ
- 6 支援内容について



1

基本理念

- 1 発達に心配や課題のある子どもと家族に「タイムリーな支援」を目指します
- 2 「家庭の子育てにつながる発達支援」を目指します
- 3 関係機関と連携し、「地域のネットワークの中での支援」に努めます

児童発達支援センターひいらぎでは、子どもの発達段階に応じた療育を提供しています。すべてのグループに「5領域」を取り入れ、個別支援・小集団活動を組み合わせながら成長を促します。また、保護者や保育園、幼稚園等の関係機関と連携し、子どもを継続的に支援していきます。



① 基本的生活習慣（健康・生活）

- ・ひとりひとりの力に応じた自立を促し、基本的生活習慣を身につける。
- ・食事 様々な食材に慣れ、姿勢良く座り、自力で道具を操作して食べる。
- ・排泄 トイレに慣れたり、定時排泄などをしながら排泄の自立を目指す。
- ・着脱 家庭と共に着脱の習慣を身に付け、自立を目指す。

② 運動・感覚

- ・戸外での活動やさまざまな運動遊びを通して、丈夫なからだを作り、体全体の発達を促す。
- ・散歩や戸外遊びを取り入れ、体力の向上を図る。
- ・設定遊び・体操・リズム遊び等に取り組み、運動機能を高める。



③ 人間性・社会性

- ・遊びや活動の中で、理解力や人と関わる力、コミュニケーションの力を育てる。
- ・始まりと終わりを明確にし、見通しを持って生活できるようにする。
- ・集まりや制作の中で、見る、聴く、表現する力、最後までやりきる力を育てる。
- ・集団生活をする中で、人への意識を高め、人と関わることを楽しめるようになる。

④ 言語・コミュニケーション

- ・言葉の理解力をつける。
- ・代替手段（写真・絵カード等）を使いながらコミュニケーション力を育て、伝える力を育む。

⑤ 認知・行動

- ・教材遊びを通して、認知能力や手指の操作性を高める。
- ・制作・描画を楽しみ、イメージを広げ、表現力をつける。

3

単独療育グループ

くじらグループ

ペンギングループ

※くじらグループは送迎バスあり（申込制）

発達に課題のある3歳児から就学前の子どもが対象です。
一人ひとりの発達をふまえ、集団活動や個別での指導を通し、持っている力を十分に引き出し、発達を促すグループです。

原則としてくじらグループは週4日、ペンギングループは週1日、時間は9:30～13:30の母子分離での通園です。

ペンギングループについては所属園との連携を大切にしており、ノート交換や見学会の開催、園訪問等を行っています。

必要に応じて機能訓練、言語相談など、専門の指導をご案内します。

単独療育グループ（くじらグループ・ペンギんグループ）の流れ

時間	プログラム	具体的内容
9:30	登園 朝の仕度 教材遊び	自分の持ち物を自分で片づけます 教材など、各自に合わせた机上の課題を行います
10:10	感覚・運動 設定遊び リズム・体操	巧技台・アスレチック・感覚運動遊びなど 曲に合わせて身体を動かします
10:30	水分補給 排泄 あつまり 手指の活動	持参した水筒で水分摂取します 個々に応じて対応します 手遊び・パネルシアター・うた遊びなど行います 描画・制作など、手指の活動を行うことがあります
11:00	戸外活動 運動遊び	園庭遊びや散歩などで季節を感じながら戸外で活動します
12:00	昼食 自由遊び	支援室で給食を食べます 出来るだけ自分で選択して、好きなことで遊びます
13:30	帰りの仕度 降園	自分の持ち物を、自分で仕度します

3

単独療育グループ



4

課題別学習グループ

まんぼうグループ

幼稚園、保育園などに通う発達に課題のある3歳児から就学前の子どもを対象に、小集団指導で「わかる・できる」経験を積み重ねることで自信を育て、発達を促すグループです。

指導は概ね隔週で1時間30分、1クラス6～7名程度の小集団グループで行います。

ペンぎんグループ同様に幼稚園・保育園との連携を重視し、園の先生方にもプログラムの内容やねらいをお伝えします。ノートの交換や見学会の開催、園訪問等も行います。

課題別学習グループ（まんぼうグループ）の流れ

時間	プログラム	具体的内容
14:30	登園 手洗い・トイレ 運動課題 あつまり 手指の課題	運動・言葉や認知・手指の課題別学習を行います 子どもに合わせた課題・やり方を通して「わかる・できる」経験が積めるようにしていきます 課題別学習を通し、社会性を育てます。注目して話を聞く姿勢を身につけます ルールを守り、周囲と協調して行動する力を身につけます
16:00	フィードバック 降園	その日のプログラムを振り返り、指導の様子をお伝えします。



5

親子参加グループ

めだかグループ

※送迎バスあり（申込制）

めだかグループは、親子でさまざまな活動をする中で、言葉や身体の発達を促すグループです。2歳児とその保護者が対象で、1時間15分の親子プログラムを行います。

家庭での子育てや、かかわりなどさまざまな悩みや課題も一緒に考えます。

必要に応じて機能訓練、言語相談など、専門の指導をご案内します。

親子参加グループ（めだかグループ）の流れ

※保護者の方も一緒に遊びます。

時間	プログラム	具体的な内容
9:00 (10:30)	登園	ノートに出席シールをはり、ポストに入れます。 コップ、名札などの支度をします。
	教材あそび	いろいろな教材やおもちゃなどで遊びます。 制作や感触遊びなど、手指を使った遊びをします。
	運動あそび 水分補給 トイレ・オムツ替え	巧技台やマットその他の遊具を使いのびのびと体を動かします。 園庭などで遊びます。散歩に出かけることもあります。
	体操・リズム あつまり	音楽に合わせて体を動かし、模倣を楽しみます。 着席して、季節に合わせたうた遊びや手遊び等を楽しみます。
10:15 (11:45)	降園	その日のプログラムを振り返り、指導の様子をお伝えします。

5

親子参加グループ



6

支援内容について

家族支援

- グループの保護者会における勉強会・ワークの実施
- ペアレントトレーニング及びペアレントトレーニングエッセンス講座の開催
- ペアレントメンター事業を活用した「先輩ママのお話を聞く会」
- 専門家を招いた市民向け講座の開催

移行支援

- 就学時の書類作成、学校や学童クラブ等への引継ぎ
- 市内公立保育園との交流会（くじらグループ）
- 園の先生向け見学会の開催、連絡ノートや園訪問での情報共有（並行通園グループ）

6

支援内容について

地域支援・地域連携の内容

- 保育園・幼稚園への園訪問の実施
- 障害児通所支援事業所の連絡会・合同説明会の開催
- 関係機関向けの公開講座の実施
- 地域の中核的役割として、障害児通所支援事業所に対するスーパーバイズ・コンサルテーションの実施

職員の質の向上に資する取組

- 内部講師による定期的な勉強会やケース検討会
- 児童発達支援センター主催の公開講座への参加
- 有識者による外部評価の実施（年1回）

6

支援内容について

主な行事等

くじらグループ

- 土曜参観・日曜参観、卒園式
- 歩こう会、親子遠足等
- 水遊び・プール・芋ほり等、季節に応じた活動
- 関係機関向け療育公開



並行通園（ペンぎん・まんぼう）グループ

- 園の先生向け見学会
- 関係機関向け療育公開





西東京市児童発達支援センターひいらぎ
支援プログラム

令和7(2025)年3月版